

中津市民病院化学療法レジメン

【レジメンNo】 S-G43

申請日 2025/9/17	承認日 2025/10/3	委員長 印
レジメン登録 2025/10/29	仮承認日	承認者 印

Pemb+SOX	病名	胃癌	外科	提出医	Dr
対象	Her2陰性の治癒切除不能な進行・再発胃癌の一次治療(CPS \geq 1)				

薬剤商品名 (一般名)	投与量 (mg/m ² 等)	投与方法 div, iv, po等	投与スケジュール (日)								
			1	5	8	10	15	20	22	25	35
キイトルーダ(ペンブロリズマブ)	200mg/body	div	○								
オキサリプラチン	130mg/m ²	div	○								
S-1	※	po(朝)	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	※	po(夕)	○	○	○	○	○	○	○	○	○
投与間隔・休薬期間等: 21日=1コース L-OHPは6コースまで											
1コース											

【S-G44】 Pemb+S-1に変更。Pembは【S-G43】より数えて35コースまで

【投与処方例（前投薬など）】

※オキサリプラチン投与中は温罨法を行う。

- ① メインキープ【緑】 生理食塩液250mL / div
- ② メイン【赤-1】 生理食塩液100mL+アロカリス1V+パロノセトロン1V+デキサート3.3mg /div 30分
- ③ メイン【赤-2】 生理食塩液50mL /div 5分
- ④ メイン【赤-3】 生理食塩液100mL+キイトルーダ /div 30分

⑤ メイン【白】 5%ブドウ糖液500mL+オキサリプラチン+デキサート3.3mg /div 2時間

制吐剤セット処方④

Day2.3 デカドロン錠4mg 1錠(分1 朝食後)

【腎機能低下時の減量方法】

※オキサリプラチン Ccr \geq 20mL/minの場合は、減量の必要性はない

※エスワン Ccr60~80mL/min 初回量より必要に応じて1段階減量

Ccr40~59mL/min 原則として1段階減量

Ccr30~39mL/min 原則として2段階減量

Ccr<30mL/min: 禁忌

【副作用による減量基準】

※S-1の内服量 C法

血液毒性・非血液毒性発現時の休薬・減量・再開基準を参考にする。

体表面積	1回用量※	1段階減量	2段階減量
$\sim < 1.25 \text{m}^2$	40mg/回	25mg/回	20mg/回
$1.25 \text{m}^2 \leq \sim < 1.5 \text{m}^2$	50mg/回	40mg/回	25mg/回
$1.5 \text{m}^2 \leq \sim$	60mg/回	50mg/回	40mg/回

以下に1日用量を記載する

開始投与量($< 1.25 \text{m}^2$) 80mg/日 → 1段階減量 50mg/日 → 2段階減量 40mg/日

開始投与量($1.25 \leq \sim < 1.5 \text{m}^2$) 100mg/日 → 1段階減量 80mg/日 → 2段階減量 50mg/日

開始投与量($1.5 \text{m}^2 \leq \sim$) 120mg/日 → 1段階減量 100mg/日 → 2段階減量 80mg/日

S-1が中止の場合は、L-OHPの投与も中止する

※オキサリプラチン

好中球減少 \geq G4、FN=G3、血小板減少 \geq G3 (PLT7.5万以上に回復) し、1段階減量
末梢神経障害 \geq G3の場合はG2以下に回復し1段階減量

初回投与量 : 130mg/ m^2

1段階減量 : 100mg/ m^2

2段階減量 : 75mg/ m^2

3段階減量 : 50mg/ m^2

参考文献 : KEYNOTE-859試験

G-SOXの試験でのS-1の減量基準を参考にしている